

保育のお仕事スタート講座 (県央)

平成 30 年度最後のお仕事スタート講座は…
11月22日(木) 県央会場 宇都宮市 とちぎ福祉プラザ
にて、開催しました。

今回は

- ①幼児安全講習 乳幼児の身近な事故と感染症の対処法
ヒヤリハットや未然に防ぐ方法について
- ②絵本の読み聞かせ講座 絵本の選び方と読み聞かせのポイント
上記の内容で行いました。



+++++ +++++ +++++

《幼児安全講習》

日本赤十字社栃木県支部 赤十字幼児安全法指導員



保育施設で起こりやすい事故やその対処法についての説明、最新の初期対応方法などお話をいただきました。

今回は「エピペン」について説明をしていただきました。(アレルギーを持っているお子さんが保育園に持参をしている場合があります)

誤ってアレルギーを口にしてしまった場合 30分以内に使用しないと命にかかわることがあるとのこと。エピペンを初めて見る方も多く、メモを取りながら熱心に話を聞いていました。

最後に、講師の経験から…自分の痛みや SOS を直接話すことが難しい子の話がありました。「『お腹が痛い』という訴えに対して、『本当に痛いの?』『どこが痛いの?』と、【腹痛】にだけフォーカスするのではなく、できるだけ気持ちに寄り添ってあげてほしい。お母さんに直接訴えたくても仕事に追われて忙しいため、保育士に伝えてくる子もいる。ぜひ小さな訴えに耳を傾けてあげてほしい。」

質疑応答も活発に行われ、参加者の皆さんも有意義な時間を過ごしていただくことができたようです。



エピペンの使い方を学ぶ受講者



質疑応答の様子

《絵本の読み聞かせ講座》

とちぎ子どもの本連絡会 小金沢 頼子氏

「絵本は子どもが会う最初の文学」
そんな言葉から講座がスタートしました。
読み聞かせは技術も必要だけれど、何より本を好きになること。絵本に興味を持ち続けることが大事というお話がありました。



- なぜ読み聞かせが必要なのか？
- どのような本を選んだら良いのか？
- 絵本の持ち方と読み方
- 新しい本の取り扱い方…等、
専門的なお話もしていただきました。



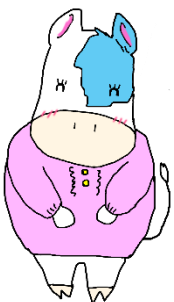
「子どもの頃どれだけの本に出会うことができたかが大切」
「絵本を読み終えた後に、子どもが想像する余地を残す読み方をしてほしい」
「現在、昔話を読まなくなる傾向があると感じる。たくさんのお話を読んであげてほしい」
と最後にメッセージをいただき、講座は終了となりました。

+++++ +++++ +++++

《参加者の声》

- エピペンとは知識として知っていたが、実際に触ったことでより身近に感じられた。
- 実体験に基づいた話もあり、とても分かりやすかった。
- いざというときにあわてないように資料を見直したい。
- 現場ですぐ役立つ話があり、勉強になった。

- 年齢に応じての本の選び方が良く分かった。昔から読み継がれている絵本の力を再認識した。
- 「読むのも聞くのも楽しむこと」という言葉が印象に残った。
- 具体的な読み聞かせの方法についての話があり良かった。



ご参加いただきました皆様、講師の先生
ありがとうございました！
平成30年度のスタート講座は、今回で終了。
次回開催は来年度となります。
詳細が決まりましたら、センターHPなどで
ご案内いたします。



今回もたくさん学べたわ。
自信もついたし、私に合う保育
施設を探しに、とちぎ保育士・
保育所支援センターに行っ
てみようかしら。

